

質問回答書

工事名称 : 箕面萱野駅上屋整備工事

質問番号	項目 ページ番号 図面番号	質疑内容	回答
1	(構造) S20 コンクリート工事	スラブ開口部配筋詳細図で仕様材料にコンクリートの設計基準強度は30N/mm ² とありますが、スランプ値は設計書No. 8に倣いS=12と考えるのでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
2	(構造) S13 鉄筋工事・鉄骨工事	柱脚リスト、基礎柱リストの特記で柱主筋、アンカーボルトは土木躯体工事で定着させている、とありますが、根巻コンクリート配筋要領図で土木構造物に定着すること、とあります。主筋及びアンカーボルトは土木工事と考えるのでしょうか。御指示下さい。	主筋及びアンカーボルトは土木工事配筋済です。施工前に現地調査を行い、アンカーボルトと柱主筋の位置を確認してください。
3	(意匠) 防水工事	設計書No. 45より外部シーリングの断面は20×10と考えるのでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
4	(意匠) A04 塗装工事	外部のDP塗は設計書No. 34より全て3級と考えるのでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
5	(意匠) A04 塗装工事	X7～18通りの折板屋根でアクリル製結露防止塗料は菊水化学工業㈱：ケツロナインと考えるのでしょうか。違う場合メーカー品番を御指示下さい。	菊水化学工業株式会社ケツロナイン同等品以上としてください。
6	(意匠) A20・21・22 塗装工事	X7～20a通りの折板屋根で軒樋受け、ケラバ用タイトフレーム受け、EXP・カバー下地の鉄骨仕上はDP塗装と考えるのでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
7	(意匠) A22 屋根及びとい工事	X7～18通りの折板屋根で点検ハッチ廻りの水切、水切カバーは設計書No. 24～26より屋根同材と考えるのでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
8	(意匠) A22 屋根及びとい工事	詳細図で点検ハッチ廻りの水切カバーの下地に野地板のような記入がありますが、必要であれば仕様、厚みを御指示下さい。	小幅板(杉板) t9程度としてください。
9	(意匠) A12他・A20他 屋根及びとい工事	X7～20a通りの折板屋根で軒樋受けのメンバーが断面図でL-45×45×4、部分詳細図でL-45×45×5と相違しています。L-45×45×4と考えるのでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
10	(意匠) A20 屋根及びとい工事	X18通りの軒樋に軒樋受けL-45×45×4@450 L750が必要と考えるのでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
11	(意匠) A-10 塗装工事	Y3通りの大梁に溶融亜鉛メッキの上りん酸処理仕上げ(指定色)とありますが、他の露出鉄骨同様にDP塗装と読み替えて宜しいのでしょうか。溶融亜鉛メッキであれば範囲等の詳細を御指示下さい。	DP塗装としてください。
12	(意匠) A-07・14 金属工事	東面腰壁(Y1通X18-20間)のカラーガルバリウム鋼板について、F-F断面図ではリブ付と書かれていますが、立面図ではリブ付と書かれていません。F-F断面図を正としリブ付と考えるのでしょうか。御指示下さい。	F-F断面図を正としてください。
13	(意匠) A-04・07 金属工事	壁カラーガルバリウム鋼板(リブ付)の厚みについて、T=0.8と書かれていますが、T=0.8の製品が無い場合T=0.5と考えるのでしょうか。御指示下さい。	t=0.8としてください。三晃金属工業株式会社サイディングハイシャドー同等品以上としてください。
14	(意匠) A-17～20 防水工事	壁カラーガルバリウム鋼板と水切部にコーキングが必要と考えるのでしょうか。御指示下さい。	リブ内の下端にケミカル面戸を設けています。水切りとの間にはコーキングは不要です。
15	(意匠) A06・21 鉄骨工事	屋根伏図凡例K:EXP.JカバーW150とありますが、部分詳細図ではW300です。部分詳細図を正とし、クリアランス300と考えるのでしょうか。御指示下さい。	部分詳細図を正としてください。
16	(意匠) A22 鉄骨工事	ポリカーボネート折板屋根詳細図X9-X10通りで、ケラバ用タイトフレーム受けのCT-200×200×8×11@1000の長さが不明です。詳細を御指示下さい。	200mm程度としてください。
17	(意匠) A25 鉄骨工事	膜屋根納まり図1で、い部、う部の下地プレート:FB-6×100通しと考えるのでしょうか。御指示下さい。	長さ100mm @500としてください。
18	(意匠) A25 鉄骨工事	膜屋根納まり図1で、あ部避雷導体ズレ止めポケットについて、仕様・詳細が不明です。御指示下さい。	仕様・詳細についてはメーカー協議の上、監督職員の承認により決定としてください。

質問回答書

工事名称：箕面萱野駅上屋整備工事

質問番号	項目 ページ番号 図面番号	質疑内容	回答
19	(意匠) S18 鉄骨工事	設計書別紙No. 41の設備取付・点検口取付下地・タイトフレーム受けで、H-100×100×6×8、L-65×65×6、PL-6、PL-9がSN400Aですが、範囲が不明です。構造雑詳細図-2の設備配管取付用部材要領図のH-100×100×6×8、L-65×65×6、PL-6、PL-9に適用と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
20	(意匠) A06・16・20 屋根工事	X18通りの堅樋径について、G-G断面図2ではφ125ですが、パラペット詳細図X18通りではφ75です。平面図凡例よりφ75を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	φ75を正としてください。
21	(意匠) A27 金属工事	雷保護設備図【参考図】引下位置、避雷導体受け金物、受雷部バンド等、仕様・詳細が不明です。御指示下さい。	仕様・詳細についてはメーカー協議の上、監督職員の承認により決定としてください。
22	(意匠) A14 金属工事	SUS製防鳥ワイヤについて、断面F-Fで別途工事と記載のある部分がありますが、範囲が不明です。別途範囲があれば御指示下さい。	防鳥ワイヤー範囲について明示したものを、競争入札参加資格のある各社宛電子メールにて送付します。
23	(意匠) A20 金属工事	設計書No. 28で金属工事のアルミ笠木に捨て笠木共とありますが、図面では見当たりません。参考明細を正と考え捨て笠木を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	捨て笠木を見込んでください。
24	(意匠) A09・17 金属工事	断面図及び外壁詳細図で水切：ガルバリウム鋼板（既製品）と記載のあるものがありますが、設計書No. 30に倣いt1.6の製作品と読み替えても宜しいでしょうか。既製品水切の場合はメーカー仕様t0.5と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	図面を正としてください。また、厚みについてはお見込みの通りです。
25	(意匠) A20 金属工事	水切：ガルバリウム鋼板（既製品）以外、カラーガルバリウム鋼板t0.8製作品と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	図面の通りt1.6としてください。
26	(意匠) A12 金属工事	設計書No. 30でX4-9腰壁下段見切水切116mが糸尺270程度とありますが、設計書どおりと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
27	(意匠) A19 金属工事	設計書No. 30でX18-20a幕板下端水切47.9mが糸尺150程度とありますが、設計書どおりと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	図面記載のとおり、既製品としてください。
28	(意匠) 金属工事	下記についてメーカー・品番を御指示下さい。 ・折版屋根（A20） ・アルミ笠木（A20） ・屋上点検口（A22） ・EXP・Jカバー（A21） ・防鳥ワイヤー（A09） ・アルミルーバー（A17）	折版屋根については、A03特記仕様書3の他、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版に適合する仕様とし、その他記載の材料については、メーカー指定としていないため、請負者にて提示頂き、材料承認にて最終決定としてください。
29	(意匠) A06 左官工事	ホーム平面図凡例M：PC床スラブ閉鎖 開口498×498 モルタル塞ぎとありますが、下地及びモルタル厚が不明です。詳細を御指示下さい。	厚みについては、現場合合せとします。なお、モルタル塞ぎは、別途工事であるホーム上の仕上げを施工する際に、開口部分から仕上げ材が漏れない対策として施工するものです。
30	(意匠) A06・21、S06・11 金属工事	PC床部閉鎖詳細図X13通り詳細の敷き鉄板：PL6について、鉄骨柱（≒φ450）が貫通するため2分割PLと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
31	(意匠) A06・S13 鉄骨工事	平面図凡例L：スラブ開口498×798、M：：498×498について、鉄骨柱のベースプレートが700×700以上あり開口が小さい為、プラットホームは後施工と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	PCのプラットホームは施工済であり、建方時に一部取り外すこととなります。スラブ閉塞はプラットホーム復旧後となります。

質問回答書

工事名称 : 箕面萱野駅上屋整備工事

質問番号	項目 ページ番号 図面番号	質疑内容	回答
32	現場説明書P 3 (14. 工程①②③)	鉄筋工事、型枠工事、コンクリート工事、鉄骨工事、屋根工事については、令和4年（2022年）11月から令和5年（2023年）3月までに施工すること、更に鉄骨の製作については、製作図を事前に市で確認するため、確認期間を見込んだスケジュールを設定し、市の承認を得ることと記載されております。 昨今、鉄骨鋼材の納期は長期化する傾向にあります。また製作図作成は落札者が決定されないと作成出来ません。 よって落札者決定後は、速やかに製作図作成期間・使用鋼材の納期及び市によるご承諾期間等の協議を開始し、各作成・承認期間を定め、不測の事態が無い限り施工者は製作図を作成・提出し、当該工事をご指定の期間までに完了すべく、上記協議により定めた承認期日までにご承認していただけたと考えて宜しいでしょうか。御教示下さい。	お見込みの通りです。